

国民健康保険の市町村別医療費に係る検証

県内の市町村国保の1人当たり医療費は、以下のとおり地域においてその金額に差異がある。今回、その差異について、受診率及び1件当たり医療費を基に検証する。

○2021年度市町村国保1人当たり医療費等

市区町村名	1人当たり 医療費(円)	1人当たり 医療費(円)			1件当たり 医療費(円)	受診率 (件/人)
		入院	入院外	歯科		
安来市	492,446	234,916	233,283	24,247	42,556	11.57
松江市	450,467	198,628	223,890	27,949	36,621	12.30
出雲市	458,055	193,131	239,445	25,478	38,473	11.91
東部沿岸部	457,975	200,005	231,447	26,523	37,979	12.06
雲南市	485,712	218,828	241,316	25,569	39,167	12.40
奥出雲町	485,867	210,356	252,439	23,072	41,868	11.60
飯南町	507,849	222,208	251,844	33,796	43,063	11.79
東部山間部	487,729	217,122	244,894	25,713	40,116	12.16
大田市	490,334	203,263	262,649	24,422	39,582	12.39
江津市	606,197	293,244	286,614	26,339	49,426	12.26
浜田市	511,717	228,159	256,925	26,634	40,011	12.79
益田市	449,408	198,096	220,968	30,344	37,216	12.08
西部沿岸部	501,627	222,825	251,581	27,221	40,443	12.40
川本町	583,738	284,537	281,680	17,521	56,060	10.41
美郷町	525,194	207,603	294,823	22,768	40,197	13.07
邑南町	417,765	189,951	204,144	23,670	37,076	11.27
津和野町	540,255	256,294	260,987	22,973	43,865	12.32
吉賀町	509,250	235,749	247,596	25,905	42,858	11.88
西部山間部	494,087	225,524	245,340	23,223	41,880	11.80
海士町	409,319	209,790	173,611	25,918	43,009	9.52
西ノ島町	481,293	275,345	182,626	23,322	51,156	9.41
知夫村	373,361	204,042	149,904	19,415	43,251	8.63
隠岐の島町	486,921	234,330	228,734	23,857	52,904	9.20
隠岐圏域	472,199	236,565	211,809	23,825	51,061	9.25
島根県	473,741	209,866	237,536	26,338	39,383	12.03

※NDBデータを集計

- ・ 1人当たり医療費＝医療費／被保険者数
- ・ 1件当たり医療費＝医療費／レセプト件数(※)
- ・ 受診率＝レセプト件数(※)／被保険者数
(被保険者がどの程度医療機関を受診しているか)

※レセプトは医療機関毎に患者1人につきひと月分の受診にかかった費用をまとめたもの。患者1人、ひと月毎、1医療機関毎に作成される。

<3項目の関係>

$$1人当たり医療費 = 1件当たり医療費 \times 受診率$$

受診率と1件当たり医療費の相関関係（市町村国保）

2021年度NDBデータから市町村国保の受診率と1件当たり医療費の相関関係については、以下のとおり。

地域別に見ると医療提供体制をはじめ、社会資本が整っている東部沿岸部は、受診率は高いが1件当たり医療費は低い傾向がある。

医療機関へのアクセスに限られるほど受診率が低くなり、1件当たり医療費は高くなる傾向にある。受診機会に限られるため、受診した時には重症化していることが考えられる。

市町村によっては、生活習慣等の影響で医療費が平均より高くなっている場合もある（特に被保険者数が少ない町村については、変動が大きい）ので、それらも考慮する必要がある。

また、2018年度と比較して上記の傾向はより強くなっており、平均よりも受診率が低くなるほど1件当たり医療費もより平均から乖離する傾向にある。

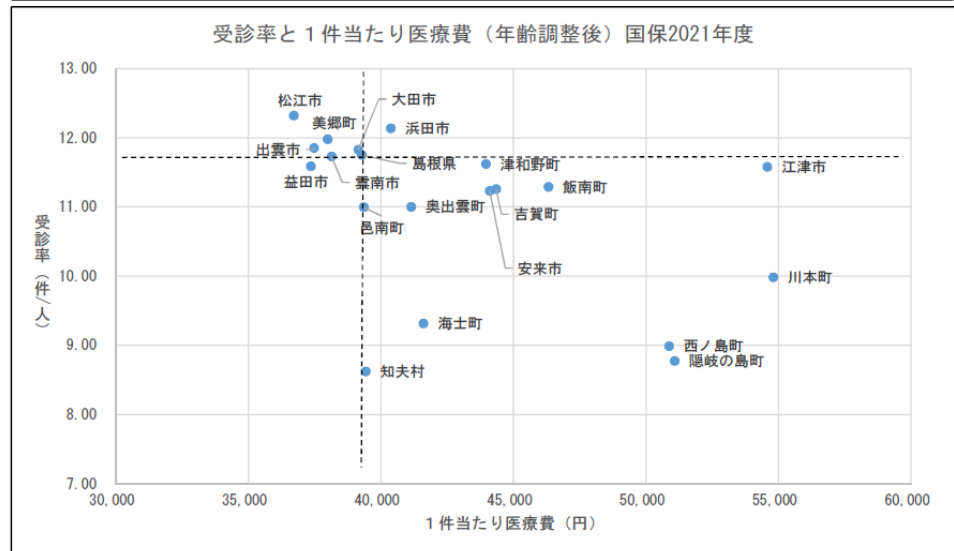
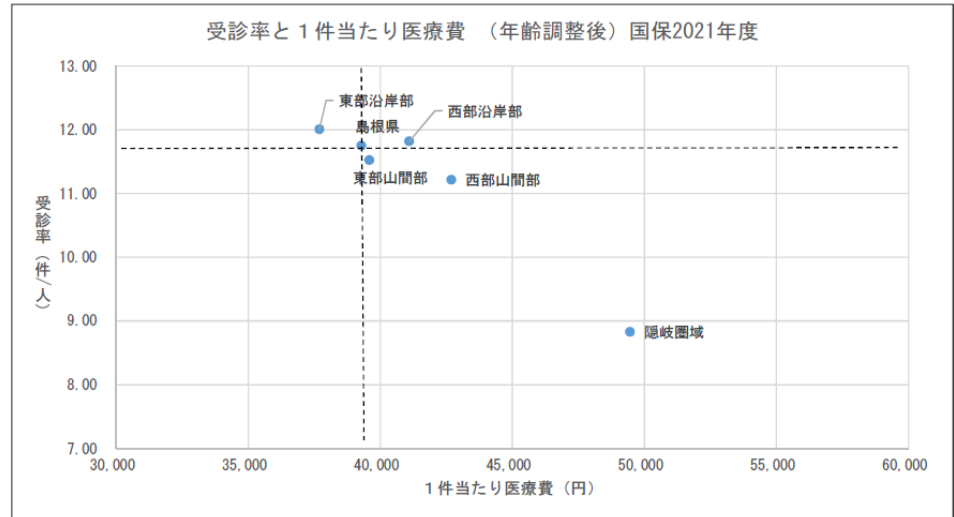
○受診率と1件当たり医療費（国保）2021年度

市区町村名	1件当たり医療費 (年齢調整後)(円)	受診率 (年齢調整後)	県平均との乖離幅	
			1件当たり医療費	受診率
安来市	44,107	11.23	4,834	-0.52
松江市	36,712	12.32	-2,561	0.57
出雲市	37,475	11.85	-1,798	0.10
東部沿岸部	37,687	12.01	-1,586	0.26
雲南市	38,139	11.73	-1,134	-0.02
奥出雲町	41,147	11.00	1,874	-0.75
飯南町	46,323	11.29	7,050	-0.46
東部山間部	39,582	11.53	309	-0.22
大田市	39,145	11.83	-128	0.08
江津市	54,575	11.58	15,302	-0.17
浜田市	40,373	12.13	1,100	0.38
益田市	37,354	11.59	-1,919	-0.16
西部沿岸部	41,094	11.82	1,821	0.07
川本町	54,799	9.98	15,526	-1.77
美郷町	37,992	11.98	-1,281	0.23
邑南町	39,351	11.00	78	-0.75
津和野町	43,966	11.62	4,693	-0.13
吉賀町	44,352	11.26	5,079	-0.49
西部山間部	42,685	11.22	3,412	-0.53
海士町	41,606	9.32	2,333	-2.43
西ノ島町	50,874	8.99	11,601	-2.76
知夫村	39,430	8.62	157	-3.13
隠岐の島町	51,086	8.77	11,813	-2.98
隠岐圏域	49,454	8.83	10,181	-2.92
島根県	39,273	11.75	0	0.00

※1. 年齢調整は2018年度の島根県市町村国保の被保険者数を基に計算

※2. 受診率=件数/被保険者数

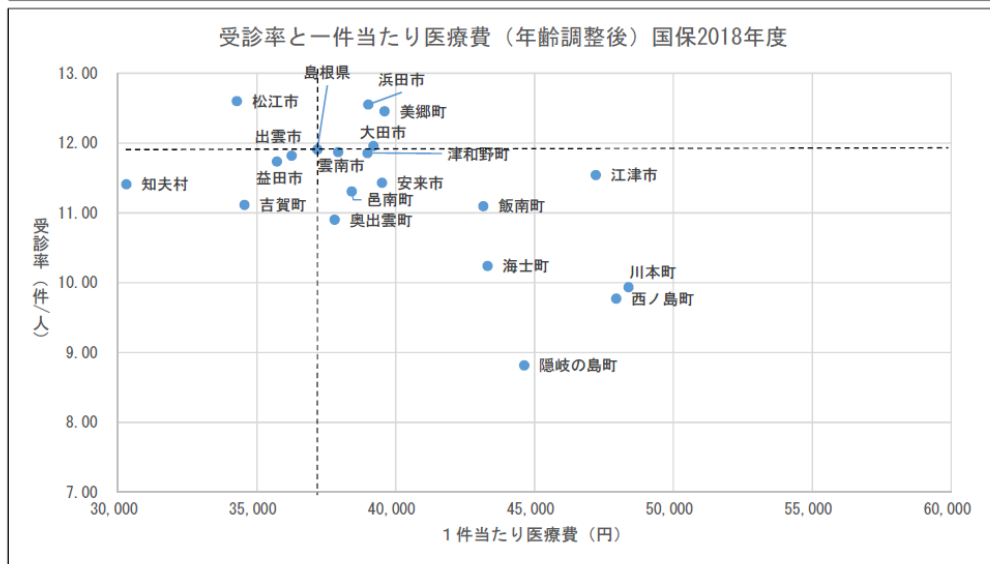
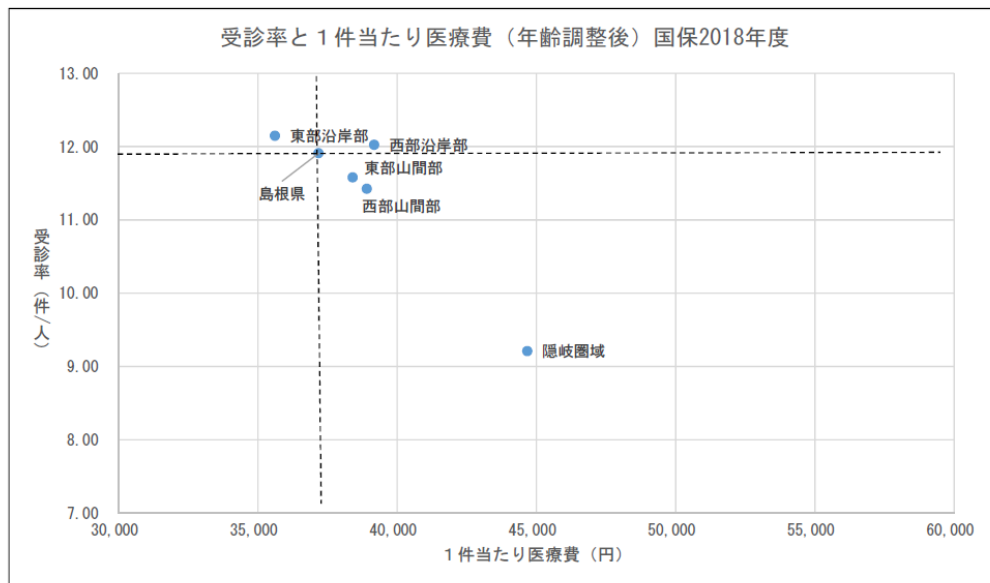
※3. NDBデータを基に作成



○受診率と1件当たり医療費（国保）2018年度

市区町村名	1件当たり医療費 (年齢調整後)	受診率 (年齢調整後)	県平均との乖離幅	
			1件当たり医療費	受診率
安来市	39,506	11.43	2,326	-0.48
松江市	34,284	12.60	-2,896	0.69
出雲市	36,256	11.82	-924	-0.09
東部沿岸部	35,614	12.15	-1,566	0.24
雲南市	37,927	11.87	747	-0.04
奥出雲町	37,800	10.90	620	-1.01
飯南町	43,154	11.10	5,975	-0.81
東部山間部	38,407	11.58	1,227	-0.33
大田市	39,196	11.96	2,017	0.05
江津市	47,206	11.54	10,026	-0.37
浜田市	39,018	12.55	1,838	0.64
益田市	35,723	11.74	-1,457	-0.17
西部沿岸部	39,174	12.03	1,994	0.12
川本町	48,384	9.94	11,204	-1.97
美郷町	39,603	12.46	2,423	0.55
邑南町	38,415	11.31	1,235	-0.60
津和野町	38,988	11.86	1,808	-0.05
吉賀町	34,558	11.11	-2,622	-0.80
西部山間部	38,914	11.42	1,734	-0.49
海士町	43,310	10.24	6,130	-1.67
西ノ島町	47,940	9.77	10,761	-2.14
知夫村	30,302	11.41	-6,878	-0.50
隠岐の島町	44,625	8.82	7,446	-3.09
隠岐圏域	44,677	9.21	7,498	-2.70
島根県	37,180	11.91	0	0.00

※受診率＝件数/被保険者数



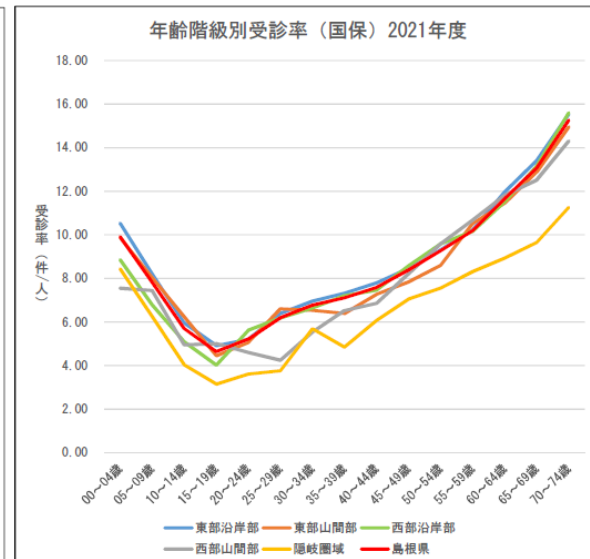
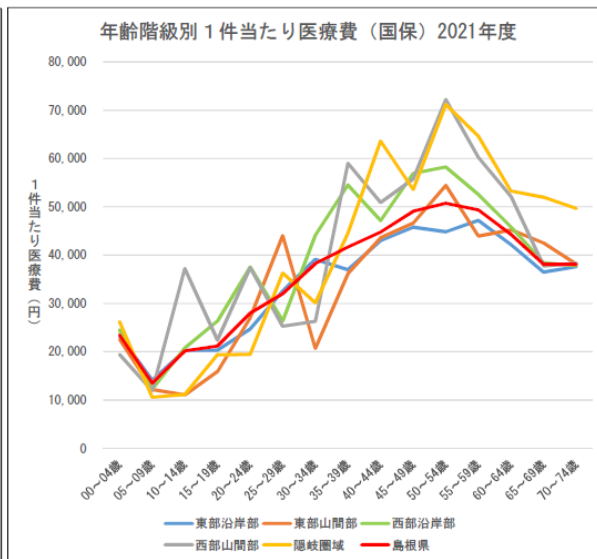
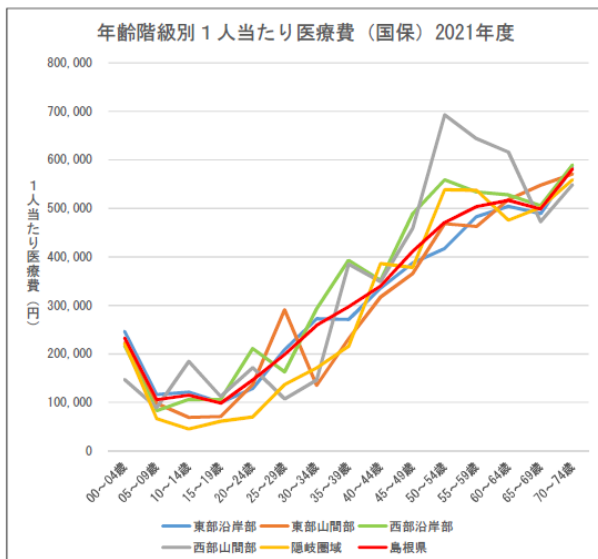
○市町村国保に係る年齢階級別受診率、1件あたり医療費及び1人当たり医療費（2021年度）について

2021年度NDBデータより、国保の市町村別年齢階級のデータについては以下のとおり。

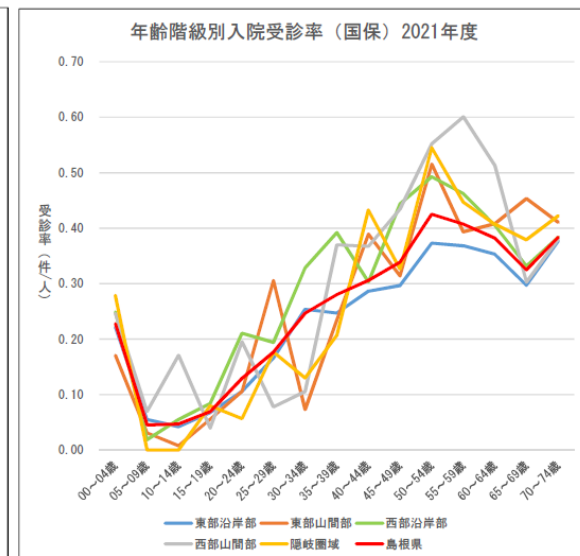
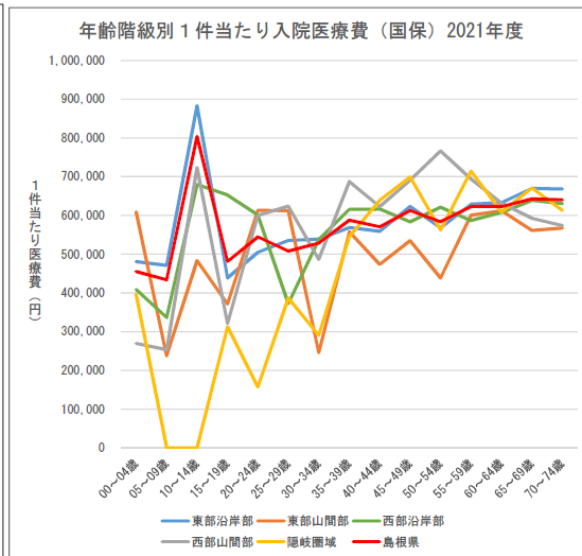
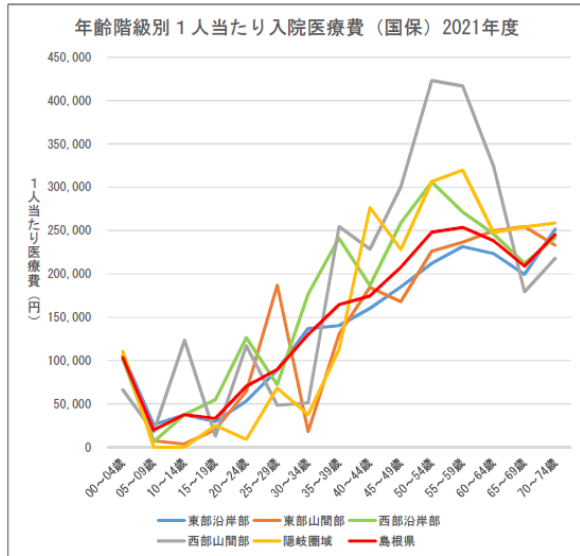
市町村毎の数値のうち、被保険者数が少ない町村については、サンプル数が少なく統計上のバラツキが大きいため、環境が異なる地域毎にまとめて検証する。

1. 隠岐圏域
 - ・受診率は40歳代より高齢になると入院受診率が高くなるが、入院外の受診率が全年齢階級において低いため、全体として受診率は低い。
 - ・1件あたり医療費は、中高年齢層になると入院・入院外ともに県平均より多くなり、全体では県平均よりかなり多額となる。
 - ・1人当たり医療費は、若年層では低いが、40～50歳代で県平均を上回り、60歳代より高齢になると平均を少し下回る程度。全体では県平均を下回る。
 - ・若年層では医療機関へのアクセスが限られるため、1人当たり医療費は抑えられるが、中高年より高齢になると受診がしづらいことが重症化に繋がっている可能性がある。
2. 東部沿岸部
 - ・被保険者数が県全体の6割程度を占めるため、東部沿岸部の平均はほぼ島根県の平均となっている。
 - ・受診率は平均よりもやや多いが、中高年齢層で1件あたり医療費が平均よりも少ないため、1人当たり医療費は中高年齢層で平均を下回り、全体でも県平均を下回る。
3. 東部山間部
 - ・全体的に県平均に近いが、30、40歳代で受診率・1件あたり医療費が低く、1人当たり医療費は低くなっている。
 - ・60歳代で入院の受診率が県平均を上回り、また、入院外1件あたり医療費が高くなるため60歳代の1人当たり医療費が高くなっている。
4. 西部沿岸部
 - ・10歳代までの若年層では受診率が低く、1人当たり医療費も低い。
 - ・20歳代より高齢になると入院受診率が高くなり、また入院外1件あたり医療費が高くなり、1人当たり医療費も高くなり、全体でも県平均を上回る。
5. 西部山間部
 - ・30歳代までの受診率は低いが、その他の年代は県平均程度。
 - ・40歳代より高齢の1件あたり医療費が県平均を大きく上回り、1人当たり医療費も県平均を上回る。
 - ・地域によっては、医療機関へのアクセスが限られることで、中高年齢層で重症化しやすくなっていることも考えられる。
6. 2018年度との比較
 - ・中高年齢（特に50歳代以上の層）の1件あたり医療費について、隠岐圏域と西部山間部は増加し、県平均との差が大きくなっている。このため、1人当たり医療費も隠岐圏域は県平均に近づき、西部山間部は県平均よりもより高くなってきている。特に1人当たり入院医療費の増加額が大きい。
 - ・被保険者の高齢化に伴い、中高年齢の重症化予防が不利な地域で医療費がより大きく増加しつつある傾向にある。

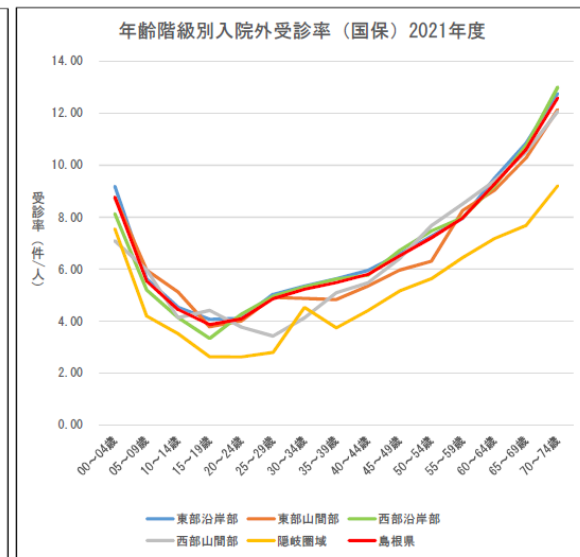
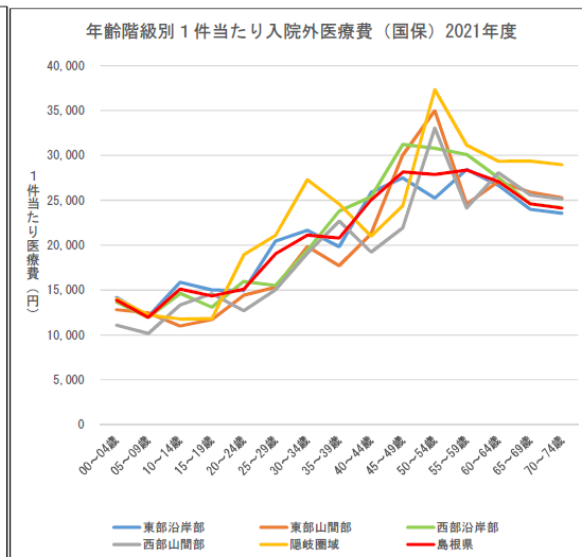
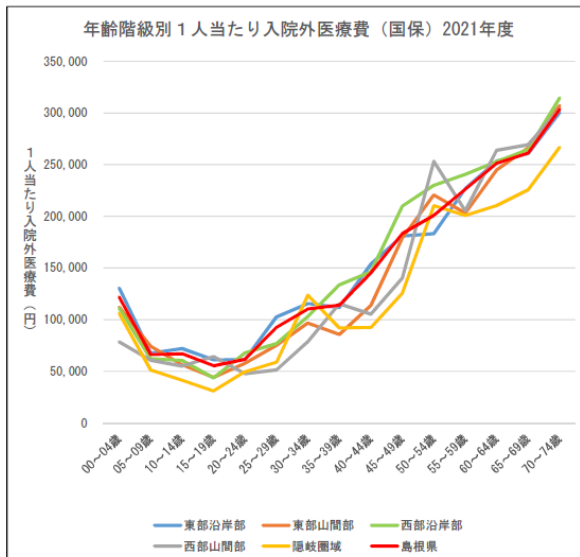
<2021年度>



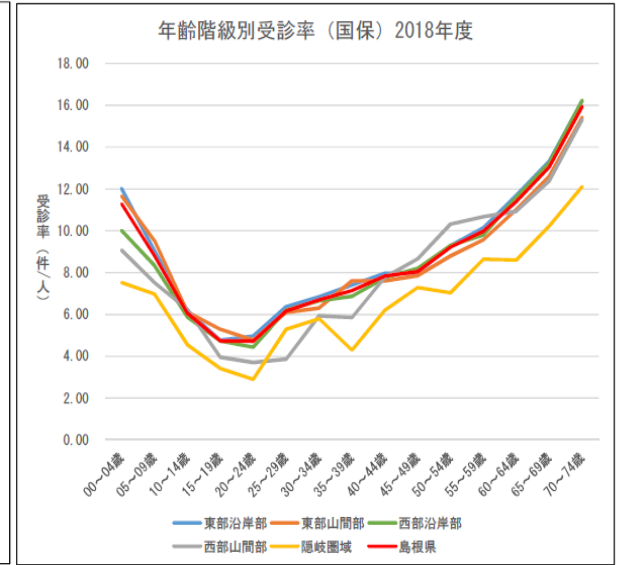
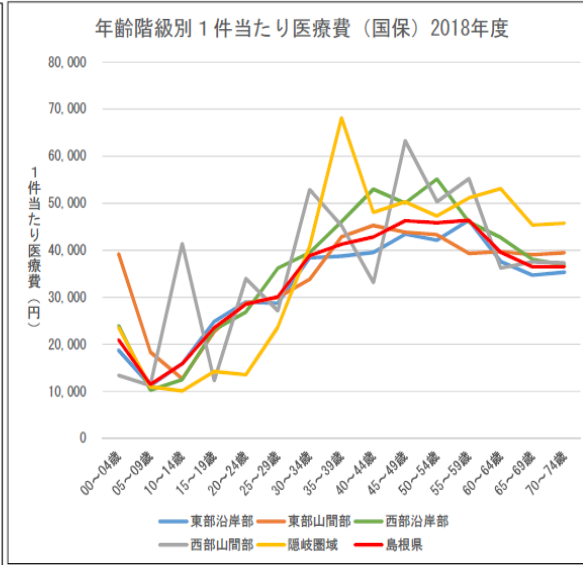
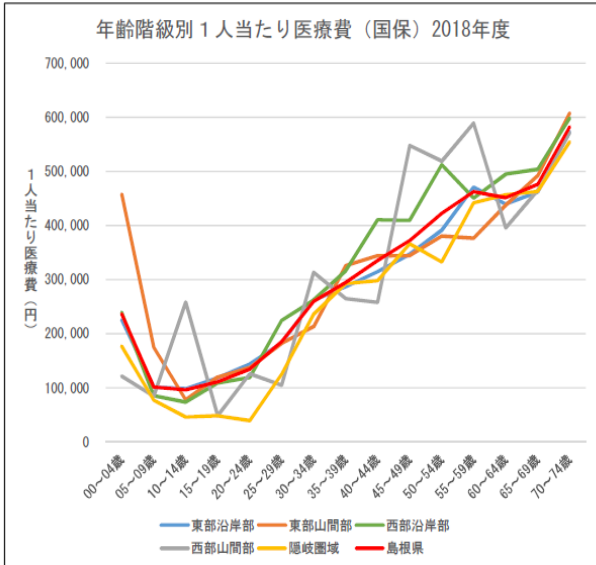
< 2021年度 入院 >



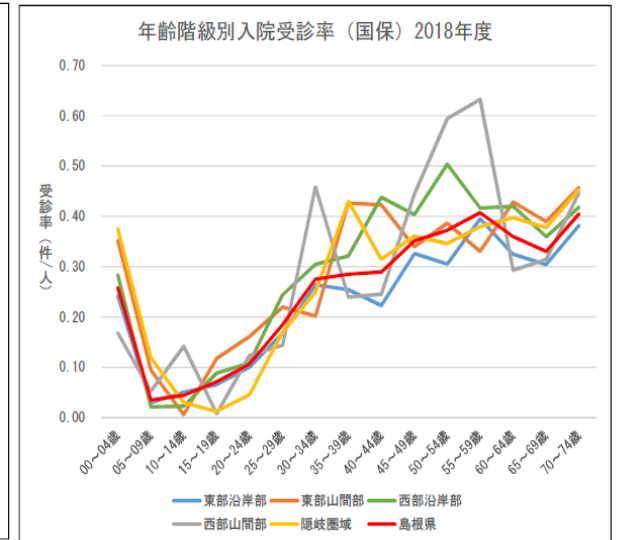
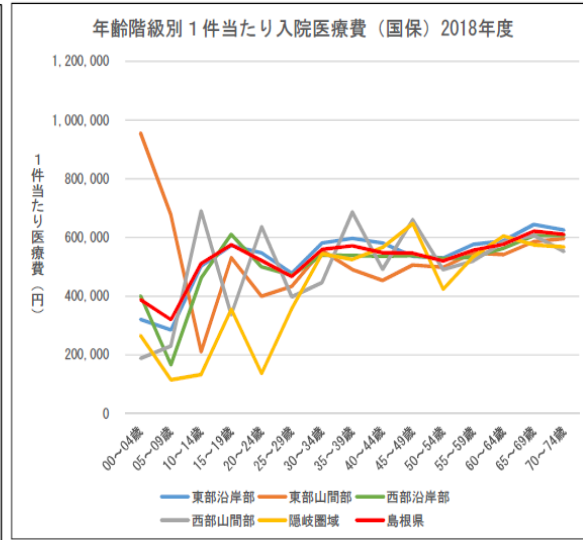
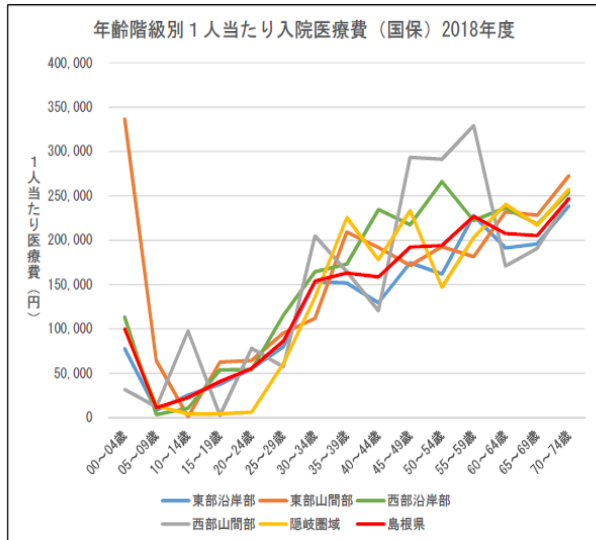
< 2021年度 入院外 >



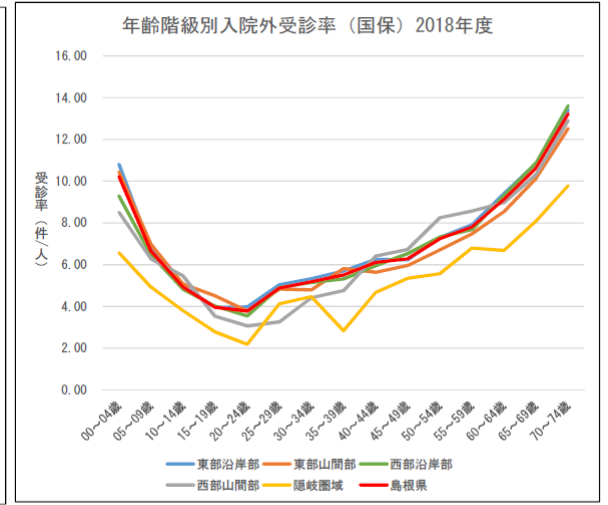
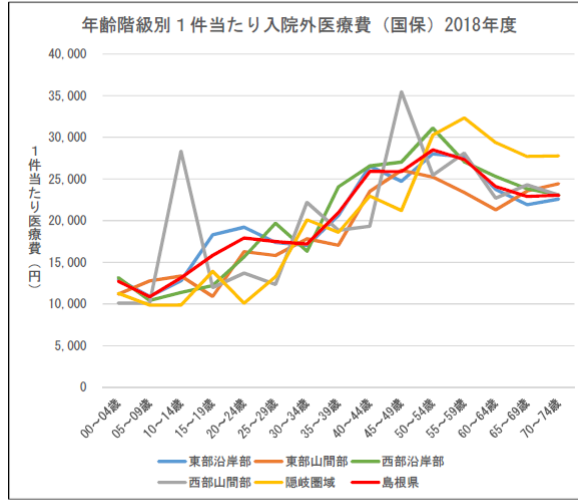
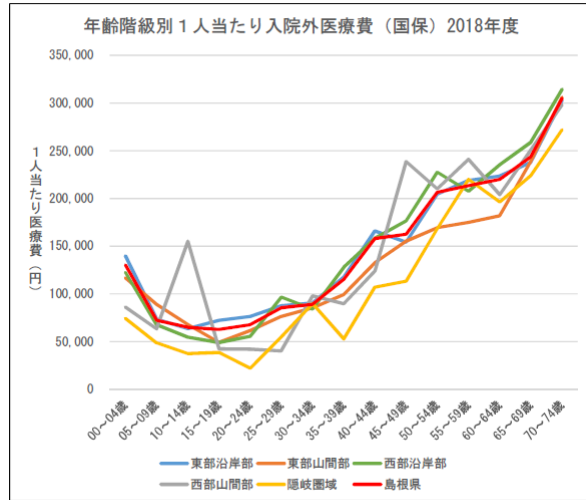
<2018年度>



<2018年度 入院>



< 2018年度 入院外 >



まとめ

市町村国保に係る 1 人当たり医療費、1 件当たり医療費及び受診率から以下の傾向があることがわかる。

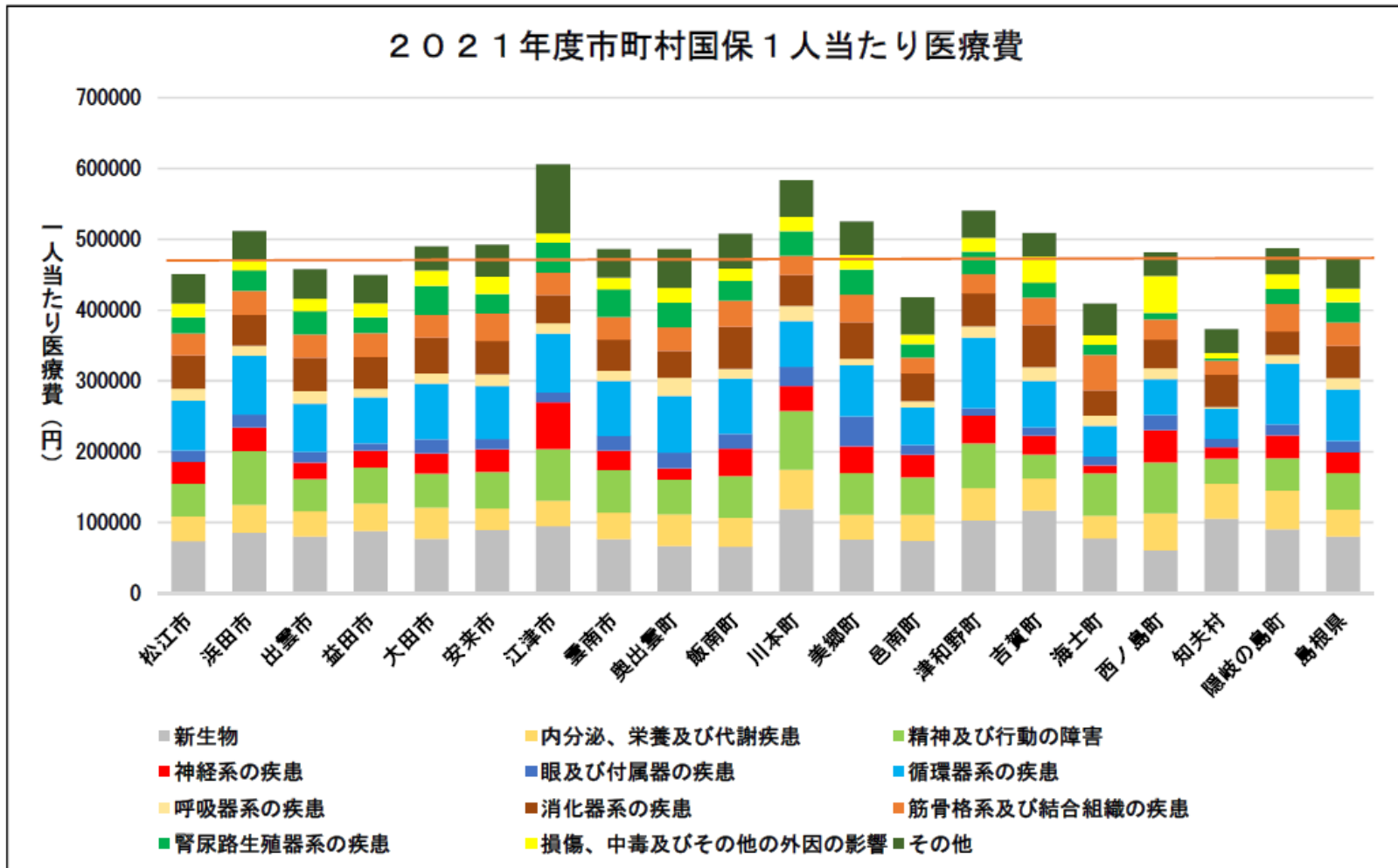
- ・医療機関へのアクセスが不便な地域ほど受診率が低く、1 件当たり医療費も高くなる傾向にある。
- ・受診率が低いと特に中高年齢層で 1 件当たり医療費が高くなることとなり、高齢化が進む中、県西部や山間部及び隠岐圏域では、1 人当たり医療費の増加幅が大きくなっている市町村もある。
- ・これに対して、医療提供体制や交通手段等が整っている都市部ほど高齢者の定期的な通院等を通してある程度重症化予防が可能となり、結果的に医療費が抑えられていることが考えられる。
- ・健康管理や初期医療を担う 1 次医療や専門外来等へのアクセスが容易であることで、入院特に高度・急性期医療にかかる被保険者の割合が低くなり、全体の医療費が抑制出来ると考えられる。

上記の様に、特に中高年齢層を中心とした健康管理、重症化予防が医療費の抑制には重要だと思われ、医療機関が少ない地域においても、1 次医療としての保健事業を職域と連携しながら現役世代から積極的に行うことが、中高年齢層を中心とした医療費の抑制のためには有用だと思われる。

<参考>

医療費の高低の原因となるものとしては、市町村毎の生活習慣等による疾病構造もある。

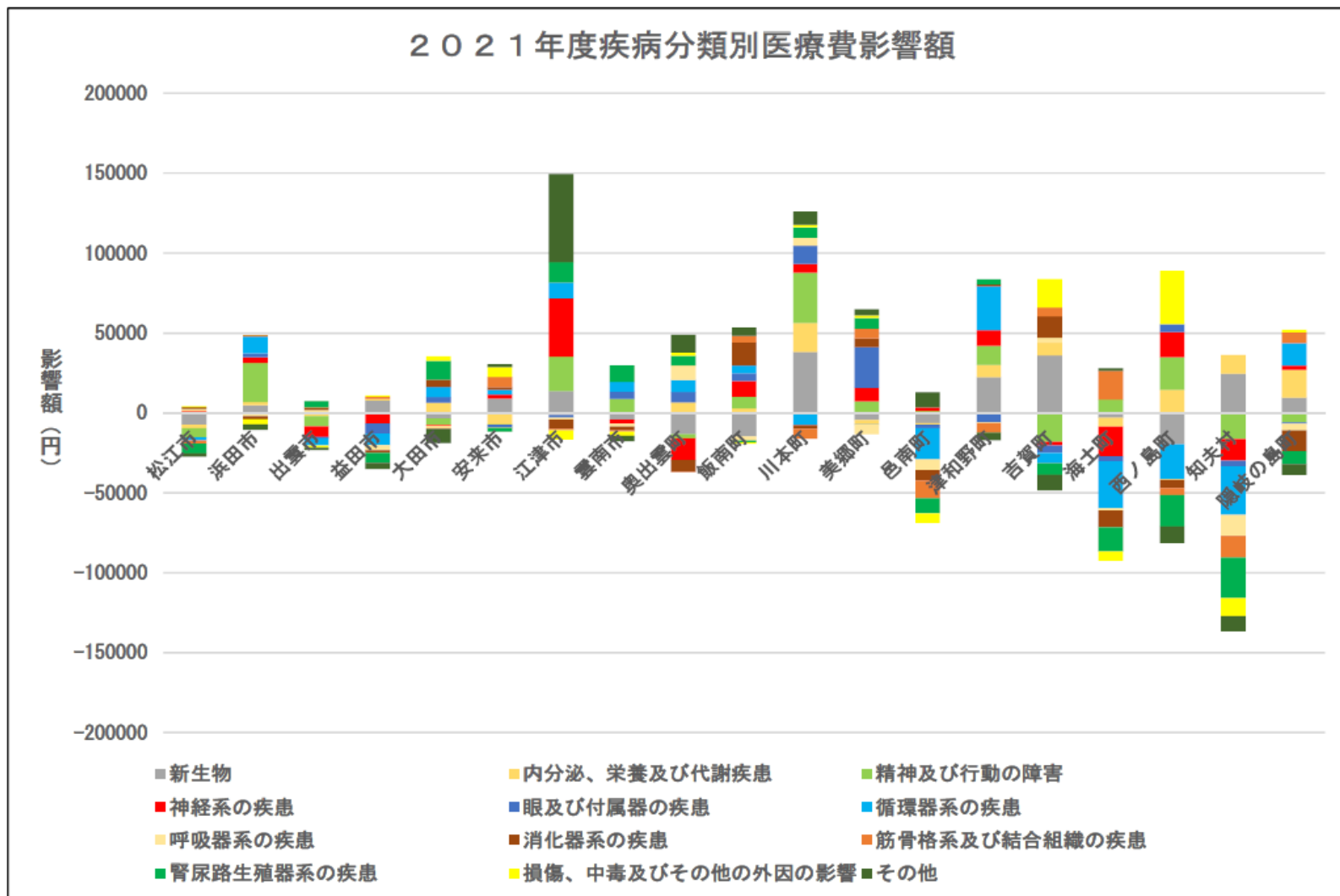
医療費を疾病分類別に見ると市町村ごとに特徴があり、特に医療費が多くなっている市町村については、疾病分類別に検証が必要となる。



※NDBデータを集計

それぞれの疾病の1人当たり医療費に対する影響額を示したものが、以下のグラフとなる。

その疾病に係る医療費が県内の平均金額よりも多ければ、「+」の影響額として、平均金額よりも低ければ「-」の金額として表したもの



※NDBデータを集計

※江津市の「その他」は、「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」の割合が大きい。